

英 語

1 学習指導と評価の改善・工夫

「英語表現」は、英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を一層伸ばすことを目標としている。

科目の目標を達成するために、学校が作成する「CAN-DO リスト」の形で設定した到達目標と年間及び単元の指導と評価の計画を有機的に連動させることが重要である。以下に、その例を示す。

(1) CAN-DO リストの例

到達時期	到達目標	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
1年終了時	・日常的・社会的な話題について、他者とコミュニケーションを図ることができる。	・発表等を聞いて概要や要点をとらえることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた論題について、自分の考えを他者に伝えることができる。 定型表現を活用するなどして、自らの意見を発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語等を、感情を込めて、聞き手に内容が伝わるようにして読むことができる。 説明、評論、などを速読して、概要をとらえることができる。 	・社会的な話題について、情報や考えを整理して、自分の意見を順序立てて書くことができる。

(2) 年間指導計画の例

教科名	英語表現	単位数	4単位	科目名	英語表現			
授業計画								
月	課	単元名	学習のねらい	単元の評価規準			評価方法	
				コミュニケーションへの関心・意欲	英語表現の能力	英語理解の能力		言語や文化についての知識・理解
8	L5	Endangered Animals in the world	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた論題について、即興で自分の考えとその理由を述べるができる。 論題について主体的に考えた上で活発に意見を交わすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らの意見を述べ合う活動に積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定型表現を活用するなどして、自らの意見を発表することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ディベートで用いる語句や表現を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 ワークシート リフレクションシート

(3) 単元の指導と評価の計画の例

単元名：Lesson 5 Endangered Animals in the world
 単元の目標：与えられた論題について、即興で自分の考えとその理由を述べるができる。論題について主体的に考えた上で活発に意見を交わすことができる。

時間	ねらい、学習活動、指導上の留意点	単元の評価規準	評価方法
第2次 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた論題について、即興で自分の考えとその理由を述べるができる。 論題について主体的に考えた上で活発に意見を交わすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語表現の能力 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の観察 リフレクションシート

1 単位時間の授業の中で、全ての観点を評価する必要はありません。

観点別学習状況の評価については、筆記テストのみならず、言語活動の観察や、リフレクションシートなどを用いた生徒による自己評価等、様々な評価方法の中からその場面における生徒の学習状況を的確に評価できる方法を選択する必要がある。

【リフレクションシートを活用した指導の工夫・改善】

リフレクションシートを活用した生徒による自己評価を実施することにより、生徒自身の学習の振り返りにつながるとともに、教員にとっても、記述内容から個々の生徒の学習状況を把握することで、学習指導の工夫・改善につなげることができる。

Reflection Sheet	
Class No. ___ Name _____	
1	Today I liked the most:
2	Today I learned:
3	Today I really did not understand:
Teacher's Comments	

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

(1) 効果的な学習の実践例

ここでは、高度なコミュニケーションを行うことができるようにすること、あわせて、論理的思考力や批判的思考力を養うことをねらいとする具体的な言語活動としてディベートの例を示す。


【単元におけるディベートまでの流れ】

ディベートを行う際には、話し手の議論のポイントや展開を注意深く聞きながら理解し、その反論を考えて発表するといったように、相手の論点に対して即興で対応することが求められるため、十分な事前の指導が必要である。


①ディベートで用いる定型的な語句や表現の理解

「言語や文化についての知識・理解」	評価規準	ディベートで用いる定型的な語句や表現を理解している。
○ ディベートの際に用いる定型的な表現を前もって生徒に指導しておく、生徒は自分の考えやその理由を述べやすく、また、ディベートを行いやすい。		
○ 賛成するときの表現 例1 I agree with you. 例2 I think that's a very good idea. 例3 I agree on that point. など	○ 反論するときの表現 例1 I disagree with you. 例2 I can't agree with you. 例3 You are right when you said ..., but.... など	Point 1 定型表現や文法を言語活動と効果的に関連付けること。
○ 相手の言うことを確認するときの表現 例1 Do you mean...? 例2 Am I right to say that...? など	○ 自分の意見を主張するときの表現 例1 In my opinion,.... 例2 The major point I'd like to make is that.... など	

②与えられた論題について、自分の考えとその理由を述べる活動

「英語表現の能力」	評価規準	与えられた論題について、即興で自分の考えとその理由を述べるができる。
○ ディベートで用いる定型的な表現の活用に慣れる。		
1 評価の方法 活動の観察など		Point 2 論理的にまとめることができるよう指導する。 ①話す内容のポイントを示す ②意見を述べる ③主張を支える ④意見をまとめる
2 活動の実施手順 (1) 生徒4～5人で1グループを構成する。 (2) 生徒の1人は、論題が書かれたカード10枚の中から1枚を選び、グループ内でその論題を提示する。 (3) そのあと、生徒はそれぞれ、別に用意されているカード（「Agree / Why」あるいは「Disagree / Why」のいずれかが記載）から1枚引き、そのカードに記載されている内容に基づいて、論題についての自分の考えとその理由を発表し合う。		

③授業での導入が容易な簡易ディベート

「英語表現の能力」	評価規準	論題について主体的に考えた上で活発な議論を行うことができる。
○ 簡易ディベート		
1 評価の方法 活動の観察、ワークシート		Point 3 原稿やアウトラインを書いて実際のディベートに備えることなどが考えられる。
2 活動の実施手順		
<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心や習熟の程度などを考慮して、論題を設定する。 一つの論題に対し、肯定と否定チームに分かれ、各々のチームが第三者を説得させる形式をとる。 論題が発表されてから15分～20分程度の短い準備時間の後、ディベートを開始する。 各チーム3名、スピーチは1人3分、スピーチ間の準備時間はない。 スピーチの途中で、相手チームは質問を行うことができる。 話し手の議論のポイントや展開を注意深く聞きながら理解し、その反論を考えて発表する。 ジャッジは、感情的にどちら側の意見に賛同するのではなく、議論の論理性などを判定する。（判定の方法を指導する。） など、一定のルールを設定する。 		
3 活動のまとめ	<p>【ワークシートの例】</p> <p>Topic: I think endangered animals need more help.</p> <p>a. strongly agree b. agree c. disagree d. strongly agree</p> <p>Why?</p>	